

科目名 (科目番号)	病理検査学 I (102121)	教員名 當銘 良也	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		前期金3.4 後期金1.2	B207研究室	
授業概要	病理診断は病気の診断や治療に直結する確定診断である。日常の病理診断は主としてパラフィン切片による染色標本によりなされ、臓器や疾患に特異的な特殊染色を行って正確な診断にいたる。標本作製や細胞診断のスクリーニングを通して臨床検査技師はきわめて重要な役割を担うことになる。病理学で勉強したことを踏まえて、病理学的検査法の基本的な意義、役割、方法論を学び、病気の確定診断や治療に寄与することができるようになることを目的とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	病理検査学総論	到達目標:病理組織検査の意義と標本作製過程と基礎的な化学の知識を理解する 学習内容:病理組織検査の意義と標本作製過程について学習し、病理検査に必要な基礎的な化学の知識を復習する				
	2	固定	到達目標:各種固定法の原理、種類について理解する。 学習内容:各種固定法の原理、種類について学習する。				
	3	包埋、薄切	到達目標:パラフィン包埋、薄切について理解する。 学習内容:包埋、薄切について学習する。				
	4	染色理論とヘマトキシリン・エオジン染色	到達目標:染色理論とヘマトキシリン・エオジン染色について理解する。 学習内容:染色理論とヘマトキシリン・エオジン染色の意義について学習する。				
	5	結合組織の染色	到達目標:膠原線維染色、細網線維染色、基底膜染色について理解する。 学習内容:膠原線維染色、細網線維染色、基底膜染色について学習する。				
	6	脂肪、多糖類の染色	到達目標:脂肪染色、多糖類染色について理解する。 学習内容:脂肪染色、多糖類染色について学習する。				
	7	核酸、病原体、無機物質、生体内色素の染色	到達目標:核酸、病原体、無機物質、生体内色素染色について理解する。 学習内容:核酸、病原体、無機物質、生体内色素染色について学習する。				
	8	神経線維の染色	到達目標:内分泌染色、血液細胞染色、神経線維染色について理解する。 学習内容:内分泌染色、血液細胞染色、神経線維染色について学習する。				
成績評価の方法・基準	試験100%						
教科書	最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学	松原修他			医歯薬出版		
参考図書	最新染色法のすべて 基礎病理技術学	水口 國雄 編 NPO法人病理技術研究会			医歯薬出版 笹氣出版		
教員からのメッセージ	時間数が少ないので内容の濃い授業になります。しっかり予習をして授業に臨むこと。						